

横浜市鴨志田地域ケアプラザ

鴨めーる

令和2年5月 第195号
社会福祉法人 ふじ寿か会
横浜市鴨志田地域ケアプラザ
青葉区鴨志田町547-3
TEL 045-961-6911
FAX 045-960-6011



中里北部地区 ちょこボラ ボランティア大募集中!

「ちょこボラの活動とは・・・」

声をかけあい、支えあいながら、安心して暮らせる町づくりを目指して介護保険や医療制度などで補えない、生活上の困りごとを解決できるように、地域の方でお手伝いをする活動です。
青葉区地域福祉保健計画 中里北部地区地区別推進会議の助成を受けています。

【活動範囲】 たちばな台、鴨志田町、寺家町、成合町

【活動内容】 個人宅のゴミ出し、草抜き、草取り、庭木の水やり、蛍光灯の取替等。内容を伺った上で必要に応じて下見をさせていただきます、複数の人数（応相談の上）で対応します。

【活動時間】 30分程度（最大1時間）

【活動費用】 30分、1人300円を依頼主よりいただきます。（内200円は運営費）



青葉区が手掛ける 青葉区地域力応援通信 AOBALRO 記念すべきVol. 1に掲載されました!

「ちょこボラ」で広がるつながりの輪 インタビュー

わたなべ 渡辺

けん 健さん

中里北部地区
ちょこボラ代表



■ある日の活動・・・

「ちょこボラ」の日、メンバーの皆さんは朝八時半に集合し、鴨志田町にある家のお庭の手入れへ向かっています。しかし、普段はもっと早い集合時間だとか。傍らで仕事ぶりを拝見していると、メンバー三人で三十分間、手際よく、草刈り・草木の剪定などを済ませ、機械が入らないところは手作業で行う丁寧な仕事ぶりです。それにも関わらず料金は九百円!というかなり良心的な金額設定になっています。その金額に依頼者もかなり申し訳なさそうでした。作業が終わると、メンバーの皆さんは疲れを見せず、笑顔で帰って行きました。この後は新しいメンバーへの説明会があるとのことでした。

■ちょこボラ・・・

「ちょこボラ」は地域のちよっとした困りごとをボランティアでお手伝いする目的で結成された団体です。青葉区の福祉保健計画の第二期（2010年度～2014年度）「青葉いきいきプラン」の中で生まれた団体で、渡辺さんはその代表を2019年から務めています。立ち上げ当初は年間30件くらいだった依頼が、地域住民の高齢化もあってか2019年度は十二月までの間に100件も依頼があったそうです。

依頼件数は増えていますが、メンバーは立ち上げ当初からあまり変わっていないのが悩みの種で「united」というインパクトのあるチラシでメンバーを募集しています。

■活動の魅力・・・

自分もいざれ助けてもらうことになるかもしれないから、助けることができるうちは、「ちょこボラ」を続けたいという助け合いの考えが渡辺さんの中にあります。活動の魅力を伺うと「庭の草刈りをして、依頼者と「きれいな家になった」という感情を共有できることが活動を続けるモチベーションとなり、楽しみとなっています。」「と熱く話す渡辺さんに、これからも鴨志田の町は助け合いの輪が広がっていくのだろうと感じました。

■きっかけ・・・

「『ちょこボラ』を始めたのは、家族から『時間があるなら何かやんなさい!』と言われたのがきっかけです。」と少し恥ずかしそうに話す渡辺さん。以前は「鴨志田わんわんクラブ」に所属して公園の清掃活動やハマロードサポーター、防犯活動のわんわんバトロールに参加していました。が、一緒に暮らしていた犬が他界してしまい、わんわんクラブの活動から遠ざかっていったときに「ちょこボラ」に出会ったそうです。今では団体の代表を務めている渡辺さんですが、始めたきっかけは自分から積極的というわけではなかったようです。

